

岡崎市

桜城橋橋上広場のよりよい使い方の提案を募集

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / **スモールコンセッションの推進** / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 **公園** / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 **コンセッション** / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（通称「QRUWA戦略」）の重要な拠点である桜城橋橋上広場について、日本での唯一無二となる川の上にある便益施設として市内外から多くの方が来訪するような施設・企画を求めるとともに事業者市民としてパートナーシップをつなげる事業者を見つけたい。

①解決したい課題

岡崎市の中心市街地であるQRUWA地区における新しい拠点として2020年（令和2年）3月に桜城橋が竣工し、その後2022年（令和4年）3月に桜城橋橋上広場に休憩所を新築した。桜城橋橋上広場等を対象として公募設置管理制度（P-PFI）による整備管理運営を想定していたが、新型コロナウイルス感染症などの影響により2023年（令和5年）3月に中止となってしまった。便益施設としての整備管理運営を担う事業者が不在であり、QRUWA戦略における集客及び回遊を促す拠点としての機能を発揮できていないため、それらを解決していきたい。

- ◆ 人口：382,656人（令和7年1月1日現在）
- ◆ 面積：387.20km²
- ◆ 立地：愛知県の中心に位置し、小売業年間商品販売額及び小売業の売場面積は西三河で最も高い。
- ◆ 施設：桜城橋橋上広場（さくらのしろばきょうじょうひろば）一級河川の乙川に架かる橋で公園橋 幅約16m、全長約120m、橋上建築物約200m²（橋北側に設置） 休憩所として建築
現在は使いたい方が申請してイベント等で利用している。
今後のスケジュールについては、今回良い提案をいただくことができれば、令和8年度・事業者募集⇒令和9年度・協議調整⇒令和9～10年度・施工⇒令和10年度中の供用開始 での可能性を考えている。

②課題解決の方向性等

- ・集客拠点として日本で唯一無二のものとするため、民設民営での便益施設の整備運営、乙川河川緑地などのイベントと連動したイベント、滞留空間の創出など、本市ならではのものとなることを期待するとともに、この施設だけではなく周辺への波及効果があることを期待している。
- ・便益施設の整備にあたっては、河川法に基づく河川占用変更、都市公園事業認可変更など各種法令手続きが必要となる。加えて桜城橋自体への応力度照査などが必要。かつ建築に伴う用途変更なども必要。（これらの手続きに必要な検討や手続きについては、市と協議の上、原則、提案事業者によって行うものとする。）
- ・インフラとしては、電気、水道の引き込みがある。都市ガスは都市ガス供給会社と調整が必要となる。
- ・以前はP-PFIによる募集を実施していたが、P-PFIによらず設置管理許可制度による実施の可能性もあるものと認識している。
- ・イベントについて、年に複数回実施されており、ある程度のプレーヤー数が既に存在する。
- ・乙川河川緑地では大規模なイベントが多数実施されているなど、乙川河川緑地指定管理者や籠田公園指定管理者との連携による回遊実施などについて実施していきたいと考えている。
- ・桜城橋は1日あたり約2,000人が通行している。
- ・冬寒く、夏熱いという自然環境であり、また駅から歩いて6分という好立地であるが駐車場がないため、それらの課題への対策等も必要になるものと考えている。

【参考】桜城橋（市HPリンク）：<https://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1184/1170/p025982.html>



橋上建築



イベント時の活用風景

③課題解決のイメージ・効果

- ・便益施設設置による岡崎市への来訪者増による関係人口、交流人口増への貢献
- ・地域企業にとっては指定管理者などとの連携による人流増に伴う売り上げ増など
- ・地域住民にとっては憩いの場を作るとともに、日本唯一無二の施設があることによるシビックプライドの醸成

その他

便益施設の整備だけでなく、QRUWA戦略における他事業との連携などの構想、またこの事業を実施、参画するうえでの条件や行政に期待すること等があれば併せて御教示いただきたい。